

国際卓越研究大学研究等体制強化計画第一次案（概要）及び申請概要（公表用）（作成要領）

1. 国際卓越研究大学研究等体制強化計画第一次案（概要）（PowerPoint 資料）

- PowerPoint で作成することとし、A4 横 10～20 枚程度とすること。
- 日本語版と英語版は別ファイルで作成することとし、ファイル名は「04-1【〇〇大学】国際卓越研究大学研究等体制強化計画第一次案（概要）」「04-1 [XX University] First Draft of Research System Strengthening Plan for Universities for International Research Excellence (Outline)」とすること。1 枚目に、世界最高水準の研究大学の実現に向けた「変革」への意思（ビジョン）とコミットメントの全体像を提示した上で、そのうち最も重要と位置付ける目標や戦略と、それらにより大学をどのように変革し、国際的なインパクト等を高めていくのかといった計画の核となる考え方を明確に記すこと。
- 2 枚目に、個々の事業の結果、整備される研究環境や育成される人材、輩出される大学発スタートアップの数等の具体的なアウトプット（外国人研究者の割合の向上を含む）の各期の目標を、現状値と併せて一覧にまとめて示すこと。
- 3 枚目以降に、体制強化計画の実施体制や目標を達成するために行う事業の内容、実施方法及び実施時期等の体制強化計画のポイントとなる事項をまとめること。その際、変革を行う際に乗り越えるべき現状の課題認識及び提案内容の学内での合意形成の状況について、必ず含めること。
- 特に、国際卓越研究大学の認定及び国際卓越研究大学研究等体制強化計画の認可に関する初回の公募に申請した大学は、「国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）における審査の状況について（令和 5 年 8 月 30 日 国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）」において示された各大学への意見や、「国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）における審査の結果について（令和 6 年 6 月 14 日 国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）」において示された次回公募への期待等も踏まえ、変革を行う際に乗り越えるべき現状の課題を丁寧な分析に基づいてどのように認識し、初回の公募における提案から、主にどのような戦略の深掘りや見直し、あるいは追加がなされたのかが分かるように示すこと。
- なお、今後、審査の過程で、1 枚目の概要資料は大学に相談の上、必要な修正を行うなどして公表する可能性がある。

2. 申請概要（公表用）

- 公表用の申請概要は、Word で作成することとし、150 字以内とすること。
- 日本語版と英語版は別ファイルで作成することとし、ファイル名は「04-2【〇〇大学】申請概要（公表用）」「04-2 [XX University] Summary of application contents」とすること。
- 併せて、大学のシンボルマークを、画像ファイル形式（JPEG、PNG、GIF、TIFF 等）で提出すること。日本語版と英語版がある場合は別ファイルで提出することとし、ファイル名は「04-3【〇〇大学】シンボルマーク」「04-3 [XX University] University logo」とすること。
- 公募締切後に、申請のあった法人名及び大学名と併せて公表を予定している。